

宮古地協ニュース NO. 5(96号)

連合岩手宮古地域協議会 発刊・作成責任者:花輪政文 発刊日:2025年5月21日

—第96回宮古地区メーデー—

2025年5月1日(木)10時より宮古駅前西広場にて第96回宮古地区メーデーを開催しました。時折冷たい風が吹くなか、構成組織組合員と来賓の皆様そして関係組織の皆様含め約120名の参加となりました。集会では伊藤俊実行委員長からのあいさつに続き、来賓の畠山茂県議会議員そして竹花邦彦市議会議員よりあいさつをいただきました。宮古市長からのメッセージと「メーデースローガン」「戦後・被爆80年次代につなぐ平和の特別決議」「メーデー宣言」を採択し、集会後は労働者の処遇改善を求めるシュプレヒコールとともにデモ行進を行い、「メーデー」の開催意義と労働組合の存在をアピールしました。



—県北地協・宮古地協合同学習会—

2025年5月17日(土)県北・宮古両地協青年委員会による「みちのく潮風トレイル散策と縄文文化を学ぶ」をテーマに合同学習会が開催されました。県北地協7名宮古地協6名の13名(両事務局長含む)が参加しました。昼頃から雨が降りだし、一部内容を変更しての実施となりました。浄土ヶ浜までの海岸沿いを歩き、普段はめったに通ることのないトンネルを抜けて「蛸の浜」まで散策しました。



はい、ポーズ！



手掘り？ミステリアス



奥の扉が展示室、撮影はここまで



お決まりの…

続いて、崎山貝塚縄文の森ミュージアムに移動し、学芸員から説明を受けながら見学しました。当日はテーマ展「みやこと戦争」も見ることができ、あらためて平和について学ぶ機会となりました。

続いて、崎山貝塚縄文の森ミュージアムに移動し、学芸員から説明を受けながら見学しました。当日はテーマ展「みやこと戦争」も見ることができ、あらためて平和について学ぶ機会となりました。

一戸町には御所野遺跡があります。縄文時代にはどんな交流があったのか、太古のロマンに思いを馳せつつ施設をあとにしました。